

2019年港合同旗開きが盛大に開催 港合同の闘いの歴史・伝統を 継承し、組織を強化しよう！



全国金属機械労働組合 港合同

大阪市港区南市岡3-6-26

TEL 06-6583-4858

FAX 06-6583-4600

一月十八日、田中機械ホールを会場に、港合同の団結旗開きが盛大に開催されました。

主催者を代表して中村委員長が年頭の挨拶を行いました。

昨年の組合員諸氏のご支援ご協力に感謝を述べた上で、今年は四月の統一地方選挙がある。維新勢力との対決として取り組んでいかなければならない。また関西生コン支部への弾圧については、我々も総評全国金属の時代、七〇年代の弾圧があ

り、激しい弾圧を乗り越えて今があることを強調しました。そして朝鮮半島情勢も昨年大きな前進があったとして、これまで港地域では在日コリアンとの交流を深めてきた中で、今、日韓の「レーダー照射問題」や「徴用工問題」など、ことさらに対立を煽り立てる風潮があるが、絶対に戦争の具に使わせてはならないと話されました。

次に、弾圧攻防で大変忙しい中を、全日建連帯労組関西生コン支部の武

谷書記次長が駆けつけてくださり、ストライキが「威力業務妨害」、コンプライアンスが「強要」と弾圧が続いているが、これまでも組合の運動が伸びた時に弾圧がきた。これまでも先輩たちは乗り越えてきたことを強調しました。

来賓の最後に、朝鮮総



組織を強化拡大し、階級的労働運動の発展をめざそう！



聯西大阪支部で、昨年六月に就任された金龍元（キム・リヨンウオン）委員長から、朝鮮半島では平和へとかじ取りが進む一方で、日本では組合弾圧があり、朝鮮人への差別が強化されている。朝鮮学校を排除した高校無償化問題で、国連子どもの人権委員会が開かれ



るスイスのジュネーブに、オモニ会の会長など代表団を送った。団結だけが勝利への旗印。社会を良くしようという部分が団結することだとして、二月八日の「日朝友好新春の集い」へのたくさんの参加を訴えられました。旗開き講演と言え、連合大阪の元副会長も務

められた要宏輝さんです。ここ数年は連続して、食事の前にした短時間の講演を快く引き受けてもらっています。今回は、関西生コン弾圧を中心に、「悪法も法」などと他人事のように考えてはいけない、「共謀罪適用」のリハーサル弾圧であると強調し、労働運動が全体的には体たらくだが、現場の闘いが重要であり、港合同として今年より一層の奮起を促されました。乾杯の音頭を、玉置事務局長が行ったあとは、恒例の地ビールと地底旅行特製の寄せ鍋で歓談。例年は、各支部・分会にマイクを回して決意な

ど述べていただいていたが、時間がとれなかったのが残念でした。

しかし、改憲・戦争、働き方改革、労働組合弾圧など、選挙も絡んで政治情勢も目まぐるしく動いており、目前に迫った一九春闘など、地域をあげて闘っていく課題は山積しています。

二〇一九年も港合同として団結を強化して、未組織労働者の組織化を通して組織の拡大を図っていきましょう。

昌一金属支部 K



原発銀座と呼ばれる若狭湾。この内、美浜 1、2 号機と大飯 1、2 号機、もんじゅは廃炉が決定している。



使用済み核燃料の保管場所がない！即刻停止を！

関西電力岩根茂樹社長は原発の使用済み燃料を搬出する中間貯蔵施設の県外立地について、十二月二六日、福井県庁を訪れ、西川一誠知事に謝罪

した。岩根社長は、年内の明示を約束していたがそれは不可能となり、「二〇二〇年を念頭に、できるだけ早く示せるよう努力する」と西川知事に理解を求めた。

しかし、謝って済むことではない。二〇一八年中に中間貯蔵施設の立地点を決めることは、大飯三、四号を

再稼働させる時の地元同意の条件だったからだ。それができない以上、福井県は大飯三、四号機の停止を求めるべきである。

福井県内では現在、高浜三、四号機と大飯三、四号機が営業運転しており、使用済み燃料は増え続けている。廃炉となった美浜一、二号機、大飯一、二号機を含め県内に立地する原発計十一基の使用済み燃料プールの貯蔵容量は計一万一三〇九

全体の約六七％に当たる計七六一六体を保管しており、六、九年でそれぞれ満杯になる見込みだ。

福島原発事故を経験した今では、あと二年で中間貯蔵施設の県外立地が確定できる見込みなどない。西川知事は県民の安全を考え、現時点で約束を守らない関西電力に大飯三、四号機即刻停止、また、全原発の停止を求めるべきではないだろうか。

アート・アド分会 N